



苧木だより

No.6
2012.7



■オーガニック・コットン栽培 ②

苧木の休耕田を活用して、戦前まで有明海沿岸で栽培されていた和綿を栽培するプロジェクトが進行中です。

7月22日（日）には2回目の草刈りがおこなわれ、午後からは、「有明木綿」代表の村上さんによる染織のお話と実演があり、皆さん熱心に耳を傾けていました。



7月22日 草刈り(午前中)



この日も約30名が9時に公民館に集合して畑へ向かい、ノコ鎌を使って梅雨時に伸びていた雑草を刈りました。鎌を入れると、バッタやコオロギなどの生き物が活発にとび跳ね、土壌が豊かなことがわかります。1時間ほどの草刈りが終わった直後に雨が降り出し、公民館に戻り少し早目のお昼となりました。

■染織のお話と草木染めの実演（午後）

今回は、古湯の温泉水を使い、
苧木産の茶葉で染めてみましょう！



自然の色合いが美しい草木染め



大きめの寸胴に温泉水を入れ、沸騰して20分間茶葉を茹でる。



- 2 茶葉を濾し、煮出した液のみにする。
- 3 茶葉でとったブラウン色の液。
- 4 液が 40 度になるまで氷水に浸けて冷ます。
- 5 先に水に浸けておいた絹糸を液に浸けこみ、何度もすくい上げ空気に触れさせる。
- 6 煮沸しながら 10 分間すくい上げて戻す作業を繰り返す。色合いが増してきた。
- 7 夏休みの子どもたちも体験。あとは、温度が下がるまで待ち、水洗いをして日陰干しに。

編集後記

村上さんは、今回の地元の温泉水と茶葉を使った染め方を「湯の花染め」と名づけられていました。天然染料には、アイやペニバナなどがありますが、地元産でというのが一番の魅力だと感じた一日でした。(HS)

次回の作業予定は、

9月2日(日)です。

